

# 環境会計

ニチレイグループは、環境保全活動に要したコストおよび環境保全上の効果を定量的に把握するために、2000年度より環境会計を導入しています。

## 環境保全コスト

(単位：千円)

コスト区分	主な取組み内容	食品工場		物流センター	
		投資額	費用額	投資額	費用額
<b>事業エリア内コスト</b>		<b>129,628</b>	<b>872,238</b>	<b>180,297</b>	<b>343,880</b>
内訳	公害防止コスト	49,393	555,596	52,470	77,763
	地球環境保全コスト	74,530	50,488	127,332	101,947
	資源循環コスト	5,705	266,154	495	164,170
	上下流コスト	0	42	0	37,056
管理活動コスト	環境マネジメントシステム構築、維持管理 従業員への環境教育 事業所周辺の美化活動	0	41,076	13,752	56,009
社会活動コスト	事業所周辺以外の自然保護や美化、緑化活動 環境保全事業、団体への寄付	0	693	0	2,558
<b>合計</b>		<b>129,628</b>	<b>914,049</b>	<b>194,049</b>	<b>439,503</b>

### 2009年度投資額の主な内容

(食品工場)  
 廃水処理設備の維持、負荷低減  
 廃熱回収装置導入  
 LED照明導入  
 屋根の遮熱塗装  
 (物流センター)  
 省エネ型の照明器具の導入  
 冷蔵庫への暖気進入防止対策  
 自然冷媒の導入

### 集計範囲

国内の全食品工場および全物流センター

### 集計の考え方・方法

- ①減価償却費は経理システムの「固定資産一覧」を基に、廃水処理設備などの環境負荷に関わる設備を対象とし、法定耐用年数を用いて計算しています。
- ②人件費は環境保全活動ごとに必要となる作業工数を割り出し、作業工数に作業人員数および事業所の平均賃率を乗じて算出しています。

### 2009年度環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		効果金額
収益	リサイクルによる売却益	46,861
費用削減	廃棄物削減による原材料、資材購入費及び廃棄物処理費の削減	18,549
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(電気)	5,877
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(熱)	19,812
	省資源(節水、容器包装減量など)	30,480
<b>合計</b>		<b>121,579</b>

### 集計範囲

2009年度末までにISO14001認証取得済みの11工場

### 集計の考え方・方法

- ①測定結果などにに基づき集計可能な実質的效果(リサイクル推進活動により生じた売却益、電力削減などにより生じた費用削減)についてのみ集計しています。
- ②2008年度および2009年度に新たに実施した環境保全活動(年度の途中から実施したものも含む)によるもので、2009年度に発生した利益貢献金額に相当します。